

「新時代とやまハイスクール構想」実施方針(素案)からの主な修正点

主な修正点

- ① 昨年10月の総合教育会議で決定した構想の進め方（別紙）に基づいた内容等の見直しなど
- ② 県立高校を取り巻く状況など「基本方針」に盛り込んでいた要素を網羅
- ③ その他、国の動きや県議会での議論等を踏まえた見直し

頁	修正点（項目）	内 容
はじめに	・実施方針の位置づけ	①「実施方針」は構想の方向性を示す「羅針盤」と位置付け、必要な場合は見直しを行うことなどを記載 ②国の「高校改革に関するグランドデザイン」の動きを追記
1	・県立高校を取り巻く状況	①「基本方針」の要素を追加
2	・構想の基本とする考え方	①構想の基本とする考え方を整理（構想の進め方を追記）
5～6	・職業系専門学科	①関係者の意見をお聞きし、職業系専門学科について検討した内容を追記
7～8	・大規模校、中規模校の整備方法等	①「大規模校」は既存施設活用も検討すること、「中規模校」は機能分担（複数キャンパス制）も検討することを追記
11～12	・新時代HSの類型	②構成を変更 ②未来探求ハイスクールが小規模となる可能性があることを記載
13	・各期の方向性	①第1期の検討と並行して、第2期以降に設置する学校についても必要な検討を行い、エリアごとの学校の配置数などを示すことを追記
15	・令和8年度の県立高校（全日制）の設置状況	②現在の県立高校の設置や募集定員の状況を追加
16～18	・項目ごとの流れ	①「基本方針」の要素を追加 ②各期の設置方針公表後に同窓会の取扱いについて関係者の意見を聞くことを記載
19～20	・第1期校等の流れ	②「設置方針」、「設置計画」等の流れを整理

「新時代とやまハイスクール構想」の進め方について

「新時代とやまハイスクール構想」については、これまでいただいたご意見を参考に、今月の構想検討会議で議論した結果を踏まえ、次のとおり整理のうえ、着実に進めていくこととする。

項目	進め方
(1) 構想の基本的な方針	<ul style="list-style-type: none">・ 構想は、「こどもまんなか」の視点から、以下を基本として進めていく。<ul style="list-style-type: none">① 基本目標である「新時代に適応し、未来を拓く人材の育成」の実現を目指すこと② 少子化が進む中でも、生徒に多様な選択肢を提供できるよう、特色ある「新時代ハイスクール」を県内にバランスよく配置すること③ 実施方針（素案）で示した令和20年度までに「目指す姿」に向け、3期に分けて段階的に再編等を進めていくこと
(2) 構想の「実施方針」および「各期の設置方針」の位置づけ	<ul style="list-style-type: none">・ 「実施方針」は、構想の方向性を示す「羅針盤」として位置づけ、策定後の社会情勢の変化などを踏まえ、必要な場合は一部見直しを行いつつ、常に、上記(1)の基本的な方針に基づき、構想を着実に推進する。・ 「各期の設置方針」は、「実施方針」に基づき、具体的な対象校を示すものとし、3期ごとに、「新時代ハイスクール」の教育内容や設置に必要な再構築を検討した上で提示する。
(3) 「実施方針」の内容等の見直し	<ul style="list-style-type: none">・ 以下を「実施方針」に記載する。<ul style="list-style-type: none">① 第1期の議論と並行して、第2期以降に設置する学校についても必要な検討を行うこと② 既存施設の活用等の観点から、複数キャンパス制の導入などにより、中規模校の機能分担を図ることを検討すること③ 大規模校については、整備方法として、「新築」のほか、「既存施設の活用」も含めて検討を進めること・ <u>今後、関係者の意見をお聞きし、農業・工業・商業高校の将来像や職業系専門学科の開設の方向性などについて検討を行い、その結果を実施方針に追記する。</u>
(4) 「実施方針」の取りまとめ時期および第1期校の設置時期	<ul style="list-style-type: none">・ <u>「実施方針」は、来年1月頃までに取りまとめる。</u>・ 「実施方針」を取りまとめた後、第1期に関する検討を行い、令和8年度前半を目途に「第1期設置方針」として公表することを目指す。・ これに伴い、第1期校の設置は令和11年度を目指すこととする。